

活動を支えていただける皆さまへ

日本赤十字社のご案内



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



寄付するあなたも赤十字です

<http://www.jrc.or.jp/>

赤十字 寄付



日本赤十字社

日本赤十字社 @JRCS_PR

JapaneseRedCrossPR



救いを託されている。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

日本赤十字社に
ご支援いただき、
まことにありがとうございます。

「令和」の時代となった昨年も、
自然災害の激甚化、頻発化はつづき、
台風第19号豪雨災害では多くの河川が氾濫、
人びとの平穏な生活が脅かされました。
日本赤十字社は、延べ700人を超える
医療救護班を派遣し、各地に支援物資をお届けし、
多くのボランティアも活躍しました。

災害のたびに浮き彫りになる課題。
より柔軟で被災者のニーズに即した
支援が求められています。
日本赤十字社は、さまざまな変化に対応し、
日本赤十字社の活動に期待し、信頼し、
「託して」くださる多くの方々の
「救いたい」という思いを形にしていまいます。

日本赤十字社 社長

大塚義治

・ 赤十字をはじめて知る方へ ・



Q. 赤十字って何をしているの？

A. 赤十字は、国内外の**自然災害**
(地震や台風など)の現場
に駆けつけ、いのちを救う
ための医療や看護の支援
を行なっています。

Q. 誰が活動しているの？

A. 普段は赤十字の病院に勤めて
いる**医師・看護師・助産師・
薬剤師**や、赤十字の活動に
賛同する**ボランティア**などが
駆けつけます。



Q. 赤十字は税金で
活動しているのですか？

A. いいえ。赤十字の活動のほとんどが
**皆さまからのご寄付により支
えられており**、災害医療チームの
育成や救援物資を備蓄するための
費用などに役立てられています。





赤十字の活動報告

※医療事業、血液事業、社会福祉事業は、それぞれ診療報酬や血液製剤の供給収益、介護保険収入などを主な財源として活動しております。

国内救護活動 ▶P5

地震や台風などの自然災害発生時に現地に駆けつけ救護活動を行います。



国際活動 ▶P7



©Atsushi Shibuya / JRCS

海外で発生した災害や紛争、病気などで苦しむ人びとを救うため、救援や復興支援、予防活動に取り組みます。

ボランティアなどの育成 ▶P8

赤十字ボランティアや青少年赤十字メンバーの人材育成を行います。



救急法などの普及 ▶P8



身近な人を救うための知識と技術の普及を行います。

救うを託されている。

その手は、あなたの手だ。

そのまなざしは、あなたのまなざしだ。

そのぬくもりは、あなたのぬくもりだ。

支援してくださるあなたの、手となり、目となり、ぬくもりとなり、

私たちは、そこに行く。

医師が、看護師が、ボランティアが、そこで活動する。

私たちは、あなたの支援で動いている。

そう。支援してくださる、あなたも赤十字の仲間です。

国内救護活動

救護班・救援物資を被災地に



©Atsushi Shibuya / JRCS

令和元年台風第19号

令和元年10月

死者99人、建物被害94,139棟(2020/1/10現在 消防庁発表)などの深刻な被害を、1都13県に及ぶ広範囲にもたらした台風19号。20支部、33病院から救護班を派遣し、活動にあたりました。また、赤十字ボランティアによる救援物資の搬送や、非常食の炊き出しなどを行いました。

主な支援実績

派遣した救護班数	82班
日赤病院から派遣した日本DMAT数	13班
派遣したところのケア班数	36班
配布した救援物資	
・毛布	17,595枚
・安眠セット	2,664セット
・緊急セット	2,385セット
活動した赤十字ボランティア数	2,810人



©千葉日報

令和元年台風第15号

令和元年9月

台風15号が直撃した千葉県などでは、広い範囲で長期間におよぶ停電が発生。各支部からチームを派遣し避難所巡回、ボランティアによる救援物資の搬送、非常食の炊き出しなどを行いました。

主な支援実績

派遣した救護班数	8班
日赤病院から派遣した日本DMAT数	4班
派遣したところのケア班数	1班
配布した救援物資	
・毛布	150枚
活動した赤十字ボランティア数	755人



©佐賀新聞社

令和元年九州北部大雨

令和元年8月

九州北部地方で猛烈な雨が降り、複数県に大雨特別警報が発表されました。発災直後、救護班などを現場へ派遣し、巡回診療を中心としたさまざまな支援活動を行いました。

主な支援実績

派遣した救護班数	9班
配布した救援物資	
・毛布	70枚
・安眠セット	470セット
・緊急セット	366セット
活動した赤十字ボランティア数	58人

被災者の声

令和元年10月



あたたかい声と食事は
元気の源です。

被災した自宅の片付けを行う長野市豊野地区の被災者。厳しい寒さの中、朝から夜まで泥の掻き出しや家財の洗浄にあたる中、避難所に赤十字奉仕団がふるまう炊き出しを取りに来てくれました。「みなさんの心のこもった言葉と食事、一緒に頑張ってくれているんだと嬉しくなりました!」と笑顔を見せてくれました。

あなたのご寄付で実現した

国際活動

国境や民族、宗教などの違いを越えて



｜ バングラデシュ南部避難民支援 ｜ 2017年8月以降

バングラデシュでは避難民キャンプに診療所を設置し、医療活動を行っています。現在も70万人以上の避難民へ支援を継続しています。現地の医療スタッフや地域保健ボランティアの育成にも力を入れています。

主な支援実績(延べ数) ｜ 医療チーム … 180人以上 こころのケア … 7万人以上 診療患者数 … 8万人以上



©Syrian Arab Red Crescent

｜ シリア難民等支援 ｜ 2011年以降

現在3,000万人以上の人びとが助けを必要とする中東地域の6カ国で支援を続けています。レバノンでは、難民キャンプ内の病院サポートや地域での保健衛生活動を行っています。

主な支援実績

シリア国内避難民支援 …… 8万6千人以上に医療サービスを提供
医療技術支援 …… 在レバノン・パレスチナ難民キャンプ5病院対象
パレスチナ・ガザ地区2病院対象
シリア難民水衛生支援 …… 簡易トイレ・水タンク102セット(レバノン)



©Atsushi Shibuya / JRCS

｜ ルワンダのレジリエンス強化 ｜

国民の55.5%が貧困レベルにあるルワンダにおいて、気候変動の影響と考えられる災害や感染症のリスクに直面する人びとへの支援を開始しました。

主な支援計画

水と衛生 …… 水道設備やトイレの設置、保健教育
貧困対策 …… 共同菜園や家畜の普及、肥料づくり
災害対策 …… 植林、地滑り対策、薪に代わる燃料づくり

あなたのご寄付で実現した

ボランティアなどの育成/救急法などの普及

ひとりでも多くの
いのちを守るために



赤十字ボランティアの育成 青少年赤十字メンバーの育成

全国の約122万人の赤十字ボランティアと約340万人の青少年赤十字メンバーが地域貢献に取り組んでいます。

主な実績

ボランティア研修参加者 …… 34,171人
青少年リーダーシップ研修参加者 …… 47,709人



｜ 救急法などの普及 ｜

日本赤十字社では、「救急法」をはじめとした、いのちを救う方法や健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える各種講習を全国で実施しています。

主な実績

[各講習受講者数]
救急法 …… 529,010人 水上安全法 …… 70,151人 幼児安全法 …… 79,425人
健康生活支援講習 …… 93,259人 雪上安全法 …… 576人

参加者の声



住んでいる町の災害対策、 学びます！

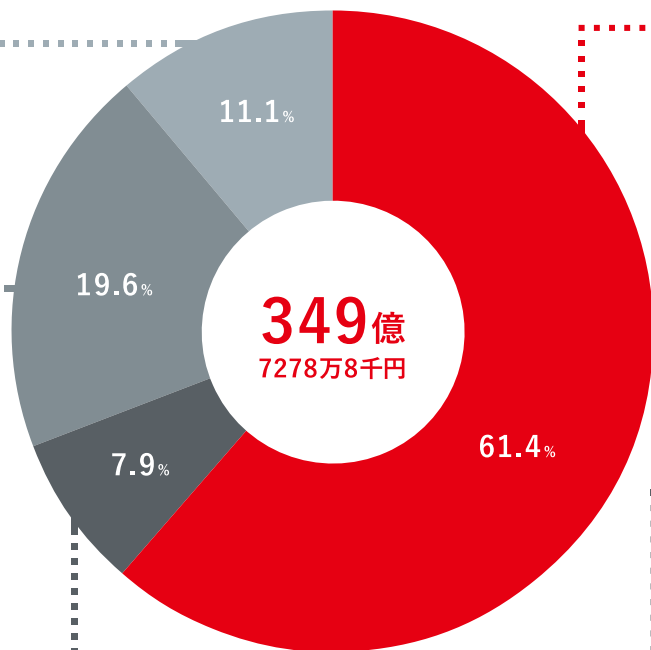
山形県中山町立
中山中学校の皆さん

防災を基本テーマとした探究課題を学年ごとに設定し、活動しています。活動を通じ、突発的な出来事に対し適切に対応するにはどのような力が必要かを学びました。

ご寄付の活かし方

平成30年度 歳出(一般会計)の報告

国内外で苦しんでいる
人びとを救うため、
皆さまから託されたご寄付を
活用しています。



※千円未満を切り捨てているため、円グラフの合計金額と
各項目の合計金額は一致しません。

苦しんでいる人びとを救うための費用 214億9875万4千円

国内外における救護活動

国内災害対応や国際活動、
復興支援などに使われた費用です。



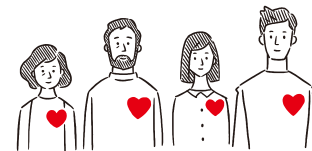
防災活動

防災イベント・セミナーなどに
使われた費用です。



ボランティアの育成

ボランティアの育成や活動に
使われた費用です。



広報活動のための費用 | 27億5853万5千円

広報・普及活動

会員への参加呼びかけや広報活動、寄付の募集のために
使われた費用です。

事務のための費用 | 68億3237万9千円

事務管理

支部、病院、社会福祉施設の事務局・本部機能としての事務経費などに
使われた費用です。

その他の費用 | 38億8311万7千円

次年度繰り越し

次年度の活動のために繰り越される資金です。

あなたのご寄付でできること



皆さまからいただいたご寄付で、準備することができる災害への備え。災害時に使う用品から、防災教育のための用品まで、さまざまな形で支援に使用させていただきます。

2,000円 ▶ 毛布 / 1枚

避難所での生活に不可欠な毛布を1人分届けられます。



3,000円 ▶ 安眠セット / 1人分

避難所での生活を支える、マット、枕、アイマスクなどをセットにした「安眠セット」1人分を届けられます。



6,000円 ▶ 緊急セット / 1セット 4人分

災害発生直後から避難所生活に必要なものが一式収納された「緊急セット」1セット（4人分）を届けられます。



20,000円 ▶ 防災教材 / 32冊

主体的に防災について学び、知識と行動力を身につける防災教材「まもるいのち ひろめるぼうさい」32冊を届けられます。



25,000円 ▶ 心肺蘇生訓練用的人形 / 1体

緊急時のいのちを救うための方法のひとつ「心肺蘇生」を正しく学ぶための訓練を多くの市民の方に実施できる器具「心肺蘇生訓練用的人形」1体を届けられます。



100,000円 ▶ 訓練用AED / 1台

緊急時のいのちを救うための方法のひとつ「AED」を正しく使うことができるトレーニングを多くの市民の方に実施できる器具「訓練用AED」1台を届けられます。

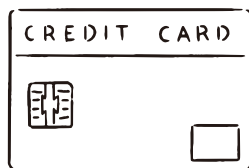


寄付するあなたも赤十字です

日本赤十字社へのご寄付の方法

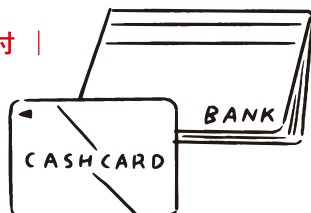
クレジットカードで寄付

Webサイトからの登録により、クレジットカードでご寄付いただけます。ご寄付の方法は、毎年・毎月・今回のみからお選びいただけます。



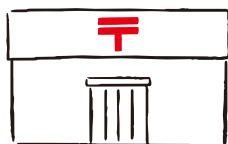
郵便局・銀行の口座振替で寄付

ご希望の口座から自動引き落としでご寄付いただけます。お申込みには「会員加入申込書」をお送りください。ご寄付の頻度は毎年・毎月からお選びいただけます。



郵便局・銀行の窓口で寄付

日本赤十字社では郵便局（ゆうちょ銀行）や銀行などで寄付専用口座を開設しております。



お近くの日本赤十字社窓口で寄付

お住まいの都道府県にある全国47箇所の日本赤十字社支部窓口でもご寄付を受け付けております。



カードのポイントで寄付

クレジットカードでの買い物や、各種サービスでカードに付与されるさまざまなポイントを利用して、ご寄付いただけます。



コンビニで寄付

コンビニエンスストアにある情報端末（ファミリーマート「Famiポート募金」、ローソン「Loppi募金」）で、ご寄付いただけます。

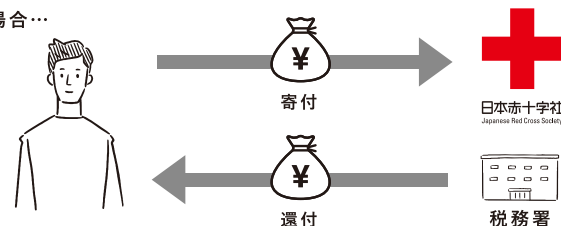


寄付方法の詳細は、日本赤十字社Webサイト「寄付する」のページをご覧ください。

税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や、企業の法人税の優遇措置を受けられます。

個人の場合…



所得控除の計算式

$$A: \text{年間所得総額} - B: (\text{寄付金額} \times 40\% - 2,000 \text{円}) = C: \text{所得税課税対象額}$$

※ただし、寄付金額は年間所得総額の40%が上限となります。

表彰制度のご案内

活動資金や献血などにご協力いただいた場合は、表彰制度を設けています。詳しくは、日本赤十字社の各都道府県支部までお問い合わせください。

※寄付などの協際に際して取得する個人情報は、日本赤十字社の広報活動や事業資金などの募集のためにのみ使用します。詳しくは、日本赤十字社Webサイトをご確認ください。